

第9回

対話型鑑賞 ファシリテーター 養成講座

鑑賞ファシリテーターとしての
理論と実践を学ぶ充実の3日間！

日時

2018年 8月4日(土) 10:00~17:00
8月5日(日) 10:00~17:30
9月2日(日) 09:30~19:00

会場

横浜市神奈川区民文化センター かなつくホール
神奈川県横浜市神奈川区東神奈川 **1-10-1**
<http://kanack-hall.info/access/>

受講料
定員

受講料 個人:税込54,000円 法人:税込81,000円
定員 15名

申込方法

こちらのQRコードを読み取っていただくともエラーが開きますので、本文記載の項目に漏れなくご記入の上、お申込みください。

なお、QRコードを使わずにお申込みされる場合は、下記「メール送信先」宛てで以下の必要事項を漏れなくご記入の上、メールをお送りください。

メールタイトルは「対話型鑑賞講座申し込み」

本文には以下の7項目をご記入ください。

1.氏名 2.年代 3.住所 4.メールアドレス 5.電話番号

6.所属・お勤め先 7.講座を知った経緯

お席の確保有無は追ってこちらからご連絡いたします。

【メール送信先】seminar@arda.jp (担当:白山)



講座の特徴



体験・理論・実践のバランスがとれた充実の内容

鑑賞者体験、ファシリテーター体験はもちろんのこと、ファシリテーターのあり方、そして鑑賞者、場へのかかわり方を理論と実践を通じて身体に沁み込ませます。

鑑賞ファシリテーター養成の草分け的存在

2012年に開講して以来、毎年開催し鑑賞ファシリテーター養成の草分け的存在として認知され、募集するとすぐに満席となる人気講座となっています。

修了後も学び、実践できる環境を提供

期を跨いだ修了生同士による勉強会に参加することができます。また、ARDA事業への参加など、学び、実践する機会があります。

1日目	オリエンテーション レクチャー：対話型観賞とは？ ファシリテーターの3つの質問と7つのポイント 実践：ミニ・ファシリテーション
2日目	鑑賞体験 レクチャー：作品選びについて 実践：コーチング・ファシリテーション／ミニ・ファシリテーション
課題の提出と講評	
3日目	レクチャー：ファシリテーターとしての準備 実践：コーチング・ファシリテーション チェックアウト

カリキュラム



三ツ木紀英(みつきのりえ/アートエデュケーター・ARDA代表理事)

英国留学後、フリーランスやNPOの立場で、美術施設だけでなく街や施設の中で展覧会・ワークショップのコーディネートを行う。ニューヨーク近代美術館の元教育部長フィリップ・ヤノウインより、一年にわたりVisual Thinking Strategies を学び、近年は対話による美術鑑賞のファシリテーター育成することで、社会とアートの接点を開拓中。

- 主な仕事：大和市、西東京市における「対話による美術鑑賞事業」プロジェクト・エデュケーター、東京都美術館とびらープロジェクト鑑賞実践講座講師(2012年～)等多数。
- 執筆：共著「現代アートの本物の楽しみ方-表現の可能性を見つけにいこう-」(フィルムアート社/2015年)、共著「現代アートの本物の見方-見ることが武器になる-」(フィルムアート社/2014年)、「岡本太郎とアール・ブリュット」展カタログ「今日(こんにち)のワークショップ-自分の中に全体性を取り戻す-」(川崎市立岡本太郎美術館/2013年)等。

講師紹介



主催・お問い合わせ

主催：NPO法人芸術資源開発機構(ARDA アルダ) <http://www.arda.jp/>
共催：横浜市神奈川区民文化センター かなつくホール <http://kanack-hall.info/>
お問合せ先：seminar@arda.jp(担当：白山)